

令和5年（2023年）2月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（1日目）

令和5年2月14日（火）

割当時間（答弁を除く）

公明党	45分
ニライ	40分
日本共産党	35分
自民党	35分

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	吉里 明 (公明党)	1 市長の政治姿勢について	(1) 昨年(2022年)12月16日、政府は臨時閣議で安全保障3文書の改定を決定した これは2014年1月に創設された国家安全保障局を中心に、約9年の歳月をかけて細部まで議論を重ねてきた内容を土台にし、2021年末以来、18回に及ぶ国家安全保障会議4大臣会議を経て、与党の実務者ワーキングチームで15回の議論を積み上げてきた改定内容となっている 今回の安全保障3文書改定について、知念市長の見解を伺う (2) 1月21日、4年ぶりとなる国民保護訓練を、内閣官房、総務省消防庁、沖縄県及び那覇市が主催となり実施された 今回の訓練の意義と内容、取組の成果と課題、参加された市民の声などについて伺う (3) 1月31日、知念市長は外務省沖縄事務所に宮川大使を訪ねて日中防衛当局間のホットライン(直通電話)について説明を受けている。面談の内容について伺う
		2 新型コロナ感染症について	(1) 現在の感染状況に対する見解と、ワクチン接種状況について伺う (2) 市内医療機関と連携し、コロナ罹患者の後遺症や社会復帰に向けた相談体制の構築を図るべきだと考えるが見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 防災・危機管理行政について 4 観光行政について	(3) 政府は、5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の分類を季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げると決めている。5類移行に伴う、本市での影響について見解を伺う (1) 全庁的な防災危機管理体制の強化のため、防災・危機管理監の設置登用について見解を伺う (2) 気象災害予測などを専門的に行う「気象防災アドバイザー」について適切な配置数と、現在の配置数を伺う (3) 本市における防災士の有資格者数と、地域の防災力を向上させるための防災士を活かす取組について伺う (4) 地域防災を担う人材輩出のため、希望する市民の防災士取得に対して、本市としても助成事業を検討するべきだと考えるが見解を伺う (5) 指定避難所となる小中学校体育館への空調設備設置について、検討状況を伺う (6) 災害対策本部や自主避難所のWi-Fi環境の充実と、避難所施設における非常用電源の確保について取組状況を伺う (1) 那覇港の新港ふ頭地区に世界最大級のクルーズ船が接岸できる新たな第2クルーズバースが整備され、今月から暫定供用が開始されている。今後のクルーズ船寄港のスケジュールや課題などについて伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 新たな観光需要の取組を促す「観光バリアフリー」について、以下伺う ① 平成19年に仲井眞元知事が、日本で初めてとなる「観光バリアフリー宣言」をしている。本市のこれまでの取組状況と次年度以降の取組について伺う ② コロナ以前とコロナ禍での観光客における高齢者と障がい者数の推移について伺う ③ バリアフリー基本構想にある重点整備地区において、バリアフリーストイレを備えた施設は何か所あるのか。また、観光客への周知方法について実情を伺う
		5 教育支援について	(1) 新年度における就学援助費の拡充について取組を伺う (2) 不登校児童生徒の現状と、不登校特例校の配置に向けた本市の対応について伺う (3) 夜間中学校を設置する意義と本市の対応を伺う
		6 女性デジタル人材育成について	糸満市では、糸満でじたる女子プロジェクトを昨年9月から開始している。「女性デジタル人材育成」についての見解と、本市としての取組を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年２月１４日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	幸 地 わかえ (公 明 党)	1 学校給食費の無償化について 2 琉球かれんの活用について 3 教育行政について 4 G I G A スクールについて 5 ウクライナ避難民支援について	学校給食費の無償化について、以下問う (1) 令和５年４月以降の予定 (2) 私立中学校についての本市の見解 本市の小中学校の児童生徒に、情操教育の一環として、沖縄生まれの弦楽器「琉球かれん」に触れる機会をすることで、児童生徒の自信に繋がると考えるが、見解を伺う (1) 本市における「教員不足」の現状と課題について問う (2) 本市小中学校における「ギフテッド教育」について、以下問う ① 本市における見解 ② 本市における「ギフテッド」の児童生徒への対応 ③ 今後の課題 G I G A スクール運営支援センター（コールセンター）の現状と課題について問う 昨年７月、公明党沖縄県議団と共に「ウクライナ避難民受け入れ支援に関する要請」を県知事に行って後、課題解決に向かっていていると関係者から伺っているが、現状と課題を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 生活保護について	生活保護受給世帯について、以下問う (1) 物価高騰に伴い、本市独自の支援が必要ではないか (2) 一人暮らしの方で死亡された場合の葬祭費用等の支給について (3) 「〇〇さんは不正受給をしているのでは」、という相談を受けるが、受給後の調査等はどうに行っているのか
		7 事業者支援について	(1) 物価高騰による事業者への支援があるのか、問う (2) 施政方針より、「経済の回復に向けて、事業者のDX化等の側面支援を図り、『稼ぐ力』の向上を後押しする取組を展開する」とは、具体的にはどんな取組か
		8 泊漁港整備について	施政方針より、「水産関係団体等へのヒアリングの実施や港内の施設利用等の実態調査を行い、ポテンシャルを活かした将来構想を策定するとともに、機能強化を図るため、水産関係団体が進める施設整備についても支援します」とあるが、具体案を伺う
		9 「なはまぐろ」について	施政方針より、「なはまぐろ」について以下問う (1) 「知名度向上を図り、流通安定・普及促進に繋げる」とあるが、これまでに加え、どのような方法で知名度向上を図るのか (2) 「生産者支援や販売促進など産地機能の強化、拡大に向けた取組を支援」とあるが、どのような支援か具体的に伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		10 地域包括ケアシステムについて	施政方針より、「市民が安心できる地域生活の実現に向けての、地域包括ケアシステムの構築」について、具体的に問う
		11 道路整備について	施政方針より、「道路のインフラ整備、街路樹の適切な剪定や雑草の抑制管理」とあるが、具体的な取組について問う
		12 パーク P F I について	施政方針より、「公園の機能を高め市民が快適で楽しく過ごせるよう漫湖公園・新都心公園において、官民連携事業であるパーク P F I 等について引き続き取り組みます」、とあるが具体的な取組について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年２月１４日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	金 城 亮 太 (公 明 党)	1 中小企業支援について 2 P F A S について 3 脱炭素化について	(1) コロナ禍で実施された実質無利子・無担保の「民間ゼロゼロ融資」の返済開始が令和５年７月から本格化するのを前に企業の負担を軽減するため、国の２０２２年度補正予算で「コロナ借換保証」制度が創設された。概要と周知について伺う (2) 令和５年１０月からの消費税のインボイス（適格請求書）制度の導入について、背景と現状の取組及び支援策を伺う 米軍基地周辺など全国各地で検出され問題となっている有機フッ素化合物「P F A S」について、関係省庁の議論が先月から本格的に開始された。以下伺う (1) P F A S の定義 (2) 問題の背景と経過 (3) どれだけの量を取り込むと健康被害が生じるか (4) 日本を含む諸外国の飲料水の目標値 (5) 本市上水道の検出量 (6) 今後の対応 ゼロカーボンシティ宣言に向けた取組について以下伺う (1) 意義について (2) 脱炭素化に向けた現状と今後の取組について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 御茶屋御殿の復元について	昨年、沖縄県の令和4年度から13年度までの振興計画において「御茶屋御殿」の文言が盛り込まれ、本市の令和5年度施政方針に早期復元に向けた市長の決意が示された。本市の早期復元に向けた取組の状況と知念市長の今後のビジョンを伺う
		5 文化芸術振興について	なは一とを活用した取組について以下伺う (1) 令和4年度、現時点までの取組実績と評価 (2) 文化芸術の担い手支援や文化芸術に触れる機会の確保・拡充に向けた新たな取組について見解を伺う
		6 自治体D Xについて	書かない窓口及び手続きのオンライン化の取組状況を伺う
		7 モノレールについて	2018年9月定例会で公明党会派の野原嘉孝議員の代表質問で3両編成の検討が示された。以下伺う (1) 3両化車両の導入の計画について (2) 3両化車両になった場合のラッピング広告事業の継続と費用について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、上下水道事業管理者、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年２月１４日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	多和田 栄子 (ニライ)	市長の施政方針について	(１) 予算編成について 令和５年度一般会計予算は１,６８６億７,７００万円で過去最大予算である しかし、１９億６,７００万円の収支不足があり財政調整基金から取りくずしての対応となっている。財政の見通しと今後の対策及び課題について伺う (２) 国民保護計画の避難訓練が１月に実施された。弾道ミサイル飛来を想定した形での住民避難訓練であり、不安や危機感をあおるものであると住民から訓練反対の声が上がった。目的及び市長の見解を伺う (３) 辺野古新基地建設、オスプレイ配備への反対について、市長の見解を伺う (４) 人体に有害とされる有機フッ素化合物 P F A S が米軍基地周辺から検出があり、那覇自衛隊基地からも検出されている。徹底対応を国に求めたがどのように対応されたかを伺う (５) 令和３年度協働の手引きが作成された。これまでの活用状況と今後の対応について伺う (６) 高齢者・障がい者福祉について ① チャーがんじゅう一日乗車券の対象拡大をどのように進めていくのか ② 新型コロナ後遺症の対策として相談窓口設置について、どのように検討されているのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(7) L R T (次世代型路面電車) の導入に向けた取り組みを伺う (8) 首里城復元への協力、第 32 軍壕の保存公開に向けた積極的検討についての対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年２月１４日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	瀬名波 奎 (ニ ラ イ)	1 令和5年度 施政方針につ いて	(1) 本市の考える自治会の役割について伺う (2) 市内のLED照明設置について今後のスケジュールを伺う (3) 道路の雑草抑制対策の具体的な取組について (4) 那覇大綱挽にて行われる旗頭の現状と課題について (5) 都市型MICE誘致に向けた取組を伺う (6) DX推進に向けた取組について伺う
		2 平和行政につ いて	令和5年度一般会計予算について、平和教育に対する取組の特徴は何か
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年２月１４日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	糸 数 貴 子 (ニ ラ イ)	1 未就学児童 の教育・保育 行政について	未就学児童の教育・保育行政について、以下伺う (1) 待機児童等について ① 直近の年齢別待機児童及び待機児童から除く児童の人数 ② きょうだい児で違う園に通う世帯数 ③ 待機児童解消に向けた取り組み (2) 保育士の処遇改善について ① 保育士の平均給与 ② 収入３％程度引き上げ措置の活用状況 ③ 保育士の配置基準 (3) こども園、認可保育園の運営について ① 保育士確保の支援 ② 直近の定員の空き状況 (4) 認可外保育園について ① 児童の利用状況 ② 運営の現状と課題 ③ 支援策 (5) 病児・病後児保育について現状と課題 (6) 一時預かり保育について現状と課題 (7) 夜間保育について現状と課題

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 子育て支援 について	子育て支援について以下伺う (1) 地域子育て支援拠点事業の役割、対象、実績 (2) こども園の子育て支援の役割、対象、実績 (3) 子育て世代包括支援センター「ら・ら・ら・ステーション」の役割、対象、実績 (4) 産後ケア事業の役割、対象、実績 (5) 令和6年度から努力義務となっている「子ども家庭センター」について、役割、対象等具体的な内容
		3 医療的ケア 児について	医療的ケア児の支援について以下伺う (1) 対象者の人数 (2) 支援実績と課題 (3) きょうだい児等含めた家族支援
		4 学校給食に ついて	4月以降の給食費について伺う
		5 御茶屋御殿 について	市長の公約、また施政方針にも、御茶屋御殿の首里城と一体となった早期復元に向けても取り組むとある。御茶屋御殿復元について、これまでの経緯と今後の取組について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 多様性の尊重について	多様性を認め合い、人権を尊重する社会づくりについて以下伺う (1) 同性婚をめぐる国会での議論について、見解を伺う (2) 選択的夫婦別姓制度をめぐる国会での議論について、見解を伺う (3) 職員の別姓使用(旧姓使用)の現状と課題 (4) 事実婚カップルの支援について 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年２月１４日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 感染症対策について 2 物価高騰対策について	(1) 新型コロナ第８波、全国では死者数が過去最悪、高齢者施設でクラスターが多発している。本市での状況を問う (2) 新型コロナ、季節性インフルエンザによる医療と救急搬送の状況を問う (3) 季節性インフルエンザ感染の状況、学校や保育所などでの状況を問う (1) 40年ぶりの物価高騰が暮らしと経済を直撃している。民間信用調査会社・帝国データバンクが１月３１日発表した「食品主要１９５社」価格改定動向調査結果の概要を問う (2) 賃金が上がらないもと、物価高騰にあえぐ市民と国民の暮らしと経済を立て直すことは喫緊の課題である。内閣府が１月２４日公表した、「国民生活に関する世論調査」では、政府が力を入れるべき分野（複数回答）で「物価対策」は６４．４％にのぼり、前回８位から２位に急上昇。日常生活での悩みや不安を「感じている」「どちらかといえば感じている」との回答は７８．０％で過去最高で、暮らしにくい日本社会になっている。生活困窮者や中小企業・小規模事業者への直接支援など、暮らしと経済を立て直すための物価高騰対策の拡大強化が求められている。対応を問う (3) 物価高騰への最も効果的な対策は消費税の減税で、世界の１００の国・地域で日本の消費税に当たる付加価値税の減税を実施している。見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) 2023 年 10 月からのインボイス制度(適格請求書等保存方式)実施に向けた準備が進められている。免税業者を取引から排除しかねないインボイス制度は、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものである。仕入れや経費に含まれる消費税を価格や単価に転嫁できなければ、ベンチャーもフリーランスも育たない。中小企業団体や税理士団体も「凍結」「延期」「見直し」を表明し、実施に踏み切ること懸念の声を上げている。見解を問う
		3 経済対策について	(1) 本市議会は 2021 年 10 月に「県管理の泊漁港に関する意見書」を全会一致で採択、那覇地区漁協のセリ場面積不足の課題解決と併せて、泊漁港一体の再整備などの取組を求めた。泊漁港再整備事業、将来構想を問う (2) スポーツツーリズムの推進と課題を問う (3) 国際観光都市として、飲食店などの商業店舗の和式トイレの洋式化、手洗い設備の促進にリフォーム助成制度の創設が求められている。見解を問う (4) トイレのない、せんべろの飲食店が中心商店街に増え、公衆トイレが求められている。対応を問う
		4 ジェンダー平等、人権問題について	(1) 荒井勝喜・総理大臣秘書官が 3 日夜、L G B T Q など性的少数者や同性婚について「見るのも嫌だ。隣に住んでいたらやっぱり嫌だ」などと発言。多様な生き方や個人の尊厳を否定する、差別と偏見に満ちた暴言であり許されない。岸田首相の任命責任も問われている。性の多様性を尊重するレインボー宣言とパートナーシップ制度導入を行い、様々な人権尊重の取組を先駆けて行っている那覇市として、総理大臣秘書官の差別・偏見発言に対する見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 特定の民族・国籍・人種など、個人の意思で変更できない属性を持つ集団への差別や敵意、憎悪を煽る示威行動＝ヘイトスピーチは、人権を著しく侵害するものである。ヘイトスピーチが行われていた本市役所前では、市民の現場での抗議、座り込みで未然防止、中止させるなど、大きな実績を積み重ねている。ヘイトスピーチ根絶に向けての取組と条例制定について問う (3) 文部科学省の「生徒指導提要」に初めて子どもの権利条約が書き込まれた。生徒指導を実践する上で、権利条約の4つの原則を理解しておくことが大切と、4つの原則を紹介している。大きな前進である。本市でも、子どもの権利条例を早期に制定し、子どもの権利、人権を守る施策を強化すべきである。対応を問う
		5 那覇市の違法な行政行為について	これも著しい差別、人権侵害問題である。那覇市が法令を守り、法令にのっとり、公正・公平に行われるべき真嘉比古島第一地区土地区画整理事業において、「必要な造成工事を完了することなく換地処分を行ったことは違法」と最高裁判所で判決が確定し断罪された。しかし、当局は議会で開き直った独善的答弁を繰り返していて、行政として恥ずべき、歴史に刻まれる重大ミスを犯したとの罪悪感も真摯な反省もない。30 年余も地権者・関係者を苦しめ続けてきた那覇市はどう責任を取るのか、明確な答弁を求める
		6 認知症対策について	(1) 本市の高齢者人口、高齢化率、高齢者世帯、高齢者単身世帯数を問う (2) 認知症高齢者数と本市の取組、課題を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 古都首里のまちづくり、文化行政について	(1) 本市議会は、2021 年の 12 月に、「御茶屋御殿等の戦災文化財の復元と『新・首里杜構想』の着実な推進を求める意見書」を全会一致で採択した。施政方針では御茶屋御殿の首里城と一体での早期復元が謳われている。御茶屋御殿と首里城周辺の戦災文化財の復元、新・首里杜構想・首里杜地区整備基本計画の実施に向けた取組を問う (2) 沖縄の伝統文化は先人から紡いできた私たちうちなーんちゅの宝である。継承と普及、新たな発展への取組を問う (3) 琉球王朝文化の象徴で、県民の心の拠り所となっている首里城を擁する本市として、郷土の伝統文化、歴史を学び、アイデンティティを育み、郷土・那覇に誇りのもてる副読本の作成と、観光客などが、那覇市・沖縄県の伝統文化、歴史を知る一助となるリーフレットの作成が求められている。見解を問う
		8 脱炭素社会・SDGs 推進について	(1) カーボンニュートラル実現への取組と課題を問う (2) 脱炭素化、省エネルギーと再生可能エネルギーの推進は、生活水準の悪化や耐乏生活を強いるものでも、経済の悪化や停滞をもたらすものでもない。それどころか、新しい雇用を創出し、地域経済を活性化し、新たな技術の開発など持続可能な成長の大きな可能性を持っている。本市の脱炭素対策は地域経済の発展と一体で取り組む立場を基本にすべきである。見解を問う (3) SDGs の達成期限まであと 7 年、取組と課題を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		9 政治姿勢について	(1) 反社会的カルト集団・統一協会と自民党との深刻な癒着が大問題となり、「政治とカネ」の問題が噴き出し、大臣や政務官が次々と辞任に追い込まれている。にもかかわらず、岸田首相や自民党には真摯な反省もなければ、自浄能力のかけらもない。「しんぶん赤旗」の調べでは、沖縄でも、2022 年 1 月の名護市長選挙で、統一協会（世界平和統一家庭連合）が渡具知武豊市長＝自民、公明推薦＝を組織的に支援したこと。また、同じ日に投開票された南城市長選挙でも同協会は古謝景春氏＝自民、公明推薦＝を応援していたことが、統一協会の韓国組織がユーチューブで公開した動画から判明した。地方政治でも、反社会的カルト集団・統一協会との深い癒着の解明と関係断絶が強く求められている。見解を問う (2) 1 月 28 日は、翁長雄志元市長が中心となって、全県の市町村長、議会議長、県議会、各種団体などが署名・押印し政府に提出した県民総意の「建白書」を政府に手交してから 10 年の節目を迎えた。歴史的な県民総意の「建白書」への見解を問う
		10 米軍基地問題、平和行政について	(1) 安全保障 3 文書は、歴代政府が「建前」としてきた専守防衛さえ投げ捨て、敵基地攻撃能力の保有に公然と踏み切るもので、敵基地攻撃能力を「我が国に対する武力攻撃が発生した場合」だけでなく、「存立危機事態」、すなわち集団的自衛権の行使として使用できるとしている。日本が武力攻撃を受けていないもとでも、米国が戦争を開始し、政府が「存立危機事態」と認定すれば、日本が攻撃されていない米国の戦争でも、自衛隊が相手国に攻撃すれば、甚大な報復攻撃を受けて焦土と化すことにもなる。憲法 9 条違反の海外での武力行使可能への見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 岸田総理は施政方針演説で、「南西地域の防衛体制の抜本強化」を進めると述べ、これまでであった「沖縄に寄り添う」との言葉も、消えてなくなっている。凄惨な地上戦を体験した沖縄で、陸上自衛隊の増強、那覇基地司令部の地下化、長射程ミサイルの配備、そのための嘉手納弾薬庫の共同使用や新たな補給拠点の設置、民間空港・港湾の軍事利用の拡大などが計画され、宮古、石垣、与那国島、うるま市などでミサイル基地建設が進んでいる。見解を問う (3) 本市が実施主体となった弾道ミサイル飛来を想定した住民避難訓練・初動対処訓練は、不安をあおるものでしかない。いま必要なのは、憲法9条を生かして、住民の生命と財産の保護、安全を守る、戦争を防ぐという政治の役割と自治体や国の責務、外交的取り組みを徹底して行い、戦争の心配をなくしていく平和の準備である。見解を問う (4) 米軍は今月4日海兵隊などが使用するオスプレイについてエンジンの動力をローターに伝えるクラッチに関連する部品交換のため一時的に運用を停止すると発表した。オスプレイは、開発段階から制御不能で墜落に至りかねない機体であると指摘されていて、墜落死亡事故を相次いで起こし、「欠陥機」とも呼ばれている。県民上空や那覇軍港でのオスプレイの飛行は危険極まりない。見解を問う (5) 基地周辺では地下水や河川、水道水、土壌などから有害性が指摘される有機フッ素化合物「PFAS」が検出されている。政府は県民の健康を守るために、関係自治体と一体となって、基地内立ち入り調査、汚染と健康被害の実態を調査・把握を行い、急いで対策を講じるべきである。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者 関係部長

代表質問（１日目） 令和５年２月１４日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 子育て行政について 2 児童虐待について	(1) 子育て支援３つのゼロが求められている ① 給食費無償化について ② 子ども医療費の無料化を高校卒業まで拡大することについて ③ 国保税の子どもの均等割りを１８歳まで減免することについて見解を問う (2) 保育の待機児童の現状と課題を問う (3) 夜間保育の概要と必要性について問う (4) 就学援助制度について ① 就学援助の概要を問う ② 我が党は就学援助の拡大を何度も求めてきた。対応を問う (5) 貧困の連鎖を断ち切るための、まなびクーポンの活用状況と効果を問う (6) 放課後児童クラブの概要について問う (1) 未来ある子供の貴い命が失われる痛ましい事件が全国で相次いでいる。児童虐待の定義と現状を伺う (2) 虐待が疑われる子供について、児童相談所と本市の役割、実態、課題を伺う (3) 中核市で県都である那覇市に児童相談所を設置すべきである。見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 学校教育行政について	(1) 教員不足が深刻である。教員の足りない学校では、「1人の教員が2クラスの授業を同時にすすめる」「教える先生が毎時間変わるため児童が不安定になる」など、子どもたちにマイナスの影響を与えている。本市でも学級の統合が問題になった。欠員の分、教員の負担が重くなり、新たな病休者がうまれるという負の連鎖も起きている。公立小中学校の教員は、国の調査で1日平均12時間近く働き、土日も出勤し、過労死ラインを超えている例もある。本市の実態と教員の多忙化解消のための対策を問う (2) 定数に占める臨時的任用職員の比率、欠員の状況を問う (3) メンタルによる教員の休職の割合と全国との比較。在職者に占める休職者の割合が、沖縄が最も高いのはなぜか (4) 法令違反と指摘されている、本市の産業医の選任の現状を問う (5) 教職調整額(残業代ゼロ制度)の見直しを国に求めるべきである。見解を問う (6) 中学校部活の土日の地域移行が進められているが、取組と課題を問う
		4 国保行政について	(1) 新年度も10億円の繰り入れを評価する。一般会計からの繰り入れの継続について、見解を問う (2) 国保税の平均金額と負担感、滞納世帯数や短期証の数など、国保加入世帯の生活実態からみえる国保財政の現状と課題を問う (3) マイナンバーカードの取得を事実上強制し、医療機関に負担と混乱をもたらす、健康保険証との一体化について見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 個人情報保護について	個人情報、個人の人格尊重の理念のもとに慎重に取り扱われるべきものであり、プライバシーを守る権利は憲法が保障する基本的人権である。今、行政に求められていることは、自分のどんな情報が集められているかを知り、不当に扱われないように関与する権利、自分の情報のコントロール権、情報の自己決定権を保障することである。本条例の対応を問う 自治体が条例で積み上げてきた仕組みを、国が「リセット」するよう迫ることは、地方自治を踏みにじるものと言わざるを得ない。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年２月１４日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	屋 良 栄 作 (自 民 党)	1 水産行政について 2 J 1 規格サッカースタジアム関連について 3 那覇軍港について	(1) 本市の市魚マグロなどの魚介類の魚食普及、海藻類を含めた水産物の消費拡大の取り組みについて伺う (2) 昨年 10 月に県漁連市場が糸満に移転したが、泊では那覇地区漁協を中心にセリを継続している。その後の泊と糸満の水揚げ(セリ)の実情について伺う (3) 泊で事業の継続を希望する団体などを支援する目的で泊漁港再整備事業が予算化されているが、進捗状況について伺う (4) 泊漁港は老朽化しており、生産機能を維持するためには再整備の必要性が指摘されている。隣に泊いゆまちがあり、交通アクセスの良さ、商圏人口の多さという優位性を持つ泊漁港の全体構想について本市の取り組みを伺う (1) 奥武山で沖縄県が進める J 1 規格サッカースタジアム建設計画の進捗状況について伺う (2) 奥武山での J 1 規格サッカースタジアム建設と連動して、戦略的に周辺地域・周辺施設との連携を進めることは、本市のスポーツコンベンションシティとしての発展に資すると思うが、見解を伺う (1) 那覇軍港の移設スケジュールの進捗状況について伺う。最短で何年先に移設が完了し、那覇軍港が返還される見込みか (2) 市民の長年の悲願である那覇軍港の返還を実現するためには那覇市長、浦添市長、沖縄県知事 3 者の政治的リーダーシップが不可欠である。知念市長の決意と、松本浦添市長、玉城知事への思いについて伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 令和版的那覇軍港跡地利用計画の策定づくりに取り組むとのことだが、これまでの計画との違い、どこをどうアップデートできると想定しているか伺う
		4 L R Tについて	(1) L R Tの導入に向けた具体的な検討をするとのことだが、これまでになされた市民からの陳情や、本議会からの提案等があり、ゼロベースからの議論ではないと考えるが、見解を伺う (2) 知念市政の4年間で、どこまで進めたいと考えているか、スケジュール感を伺う
		5 那覇市の地下空間の活用	(1) 那覇市内で地下の活用がなされている公共施設といえば、県民広場地下駐車場と那覇うみそらトンネルしか思い浮かばないが、その他にあるか伺う。また、これまでに鉄軌道案の他に、まちづくりの上で地下街など地下空間を活用しようという構想があったか伺う (2) 本市は県庁所在地であり、かつ本県唯一の中核市であるが、全国のそれらと比較して面積が広くないのが泣き所である。更なる発展のためには、建物の高層化だけでなく、地下空間の活用が必要ではないかと考える。見解を伺う
		6 女性活躍推進と人材登用	(1) 本市は女性が働きやすい職場であるか伺う (2) 本市の女性人材登用の現状と目標について伺う (3) 市内企業の女性活躍推進状況について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 協働のまちづくりについて	(1) わが国において協働のまちづくりはいつ頃から語られ始め、本市においてはいつから使われているか伺う (2) 自治会がない、民生委員のなり手がいない等は、従前からの課題であるが、人材の確保なくして協働のまちづくりはなしえない。次年度の目標について伺う (3) 協働のまちづくりについて、長崎市ではまちぶらプロジェクト認定制度という行政がお金を出さない形で民間に協力する施策をうまく実施している。本市の参考になる施策であると考えているが見解を伺う
		8 自殺防止について	(1) 近年とりわけ令和4年の国、沖縄県及び本市の自殺の状況はどうなっているか伺う (2) 自殺防止策としてのゲートキーパーの養成について、広く一般に拡大していく必要性があると考えているが見解を伺う。職域での講座開催も大切だが、地域別の開催など工夫をする考えはないか伺う (3) 失業者や学生への対策について伺う
		9 物価の高騰について	(1) ガソリンはじめ物価の値上げにより、市民生活は厳しい状況である。本市として、この状況でどのような打つ手が考えられるか伺う (2) 次年度春に電力会社の要望通り電気料金が値上げされたら、夏のクーラー代増加が市民生活を直撃する。家計が厳しい市民の熱中症などが懸念される。クールシェアなど今から想定しておく必要があると考えているが見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		10 北朝鮮による拉致問題について	(1) 本市のこれまでの拉致問題に対する取組みについて伺う (2) 市民にもっと関心を持ってもらうために、なは一とで拉致問題啓発劇を開催する等企画してはどうか、見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年２月１４日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	吉 嶺 努 (自 民 党)	市長の政治姿勢について	(１) 令和５年度施政方針について以下伺う ① 学校給食費の無償化に向けた取組について伺う ② 出産・子育て応援事業の概要について、またまなびクーポンの拡充について伺う ③ 経済のV字回復に向け事業者へのDX化支援の展開以外に、生産性の向上や高付加価値化、人材育成など稼ぐ力の向上を後押しする取組があるか伺う ④ 都市型MICE誘致促進に向けた取組について伺う ⑤ 地域包括支援センターの次期運営体制について伺う ⑥ 放課後児童クラブの取組促進と待機児童解消に向けた取組について伺う ⑦ 教職員の職場環境を整えるための取組について伺う (２) 第５次那覇市総合計画について以下伺う ① 「災害対応力の高いまちをつくる」のうち、消防・救助体制の強化や、危機管理体制の強化における「他国による武力攻撃、テロ、ミサイル発射や新型インフルエンザの発生など不測の事態に備えた避難訓練の実施、マニュアル等を整備し危機管理体制の強化を図る」とあるが、中間目標を踏まえ、体制の強化は図られているか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			② 「次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る誇りあるまち」には、「向上心に富む市民が、輝かしい未来に向かって歩む」と記されている 輝かしい未来に向かって歩む老若男女の市民を応援するために、那覇市立夜間中学の設置も含まれていると考えるが見解を伺う (3) 本市の消防吏員を沖縄県へ派遣する予定の沖縄県消防防災ヘリコプターの導入に係る本市の対応について伺う (4) オスプレイの那覇軍港の使用に関して市長の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長